

正解のない社会に、 デザインが 求められる理由？

デザインって何？
どうして必要？
木村先生、
教えてください。



デザインとは、目に見える何かを「作ること」。

そう思う人が多いのではないだろうか。

もちろんそれも大切ですが、その前に「考えること」が重要です。

どう作るかより、まず何を作るか考える。

「作ること」造形力「クオリティ」に対し、

「考えること」企画力「オリジナリティ」。

その力が活かされるのは、デザインの仕事だけではありません。

変化が激しく、先が見えないこの時代。誰もが正解のない課題に

直面する中、ゼロからイチを生み出せるのは誰か。

それは、デザインを学んだ人材も有力ではないかと、

社会から注目され始めています。

でも、求められるその企画力やオリジナリティは、

どうしたら身につけられる？

まず、自分の「好き」と向き合ってみる。

その「好き」に興味のない人でさえ、思わず心を奪われて

しまうような、楽しいアイデアを考え続ける。

作ることが好きで、人を喜ばせることが好きなら、

試行錯誤も楽しみながら、力に変えていけるはず。

表現学部芸術学科

教授 木村 史紅



和光3分大学

現代人間学部

心理教育学科（心理学専修／子ども教育専修／子ども教育専修 保育コース）

人間科学科

表現学部

総合文化学科／芸術学科

経済経営学部

経済学科／経営学科

TEL: 044-988-1434（入試広報課）

〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1

【ホームページ】<https://www.wako.ac.jp/>

【メールアドレス】go@wako.ac.jp

異質力で、輝く。

和光大学